

## 第40回寒地道路連続セミナー「近年の暴風雪と減災への取り組み」を開催しました

寒地道路研究グループ

寒地道路研究グループでは、寒地道路に関する様々な話題についての情報提供と意見交換の場として寒地道路連続セミナーを開催しています。さる平成27年11月26日に、第40回寒地道路連続セミナー「近年の暴風雪と減災への取り組み」を開催しました(写真-1)。

本セミナーは吹雪災害を軽減するため、札幌管区気象台や北海道開発局、寒地土木研究所の取り組みについて講演を行うとともに、参加者との情報交換を通じて、吹雪災害の軽減に向けて理解を深めることを目的として開催したものです(表-1)。

講演では、はじめに、札幌管区気象台の前田予報官から、「北海道における昨冬の気象と気象情報の活用」と題して、昨冬の気象の状況と気象情報の改善点、気象情報と求められる行動、向こう3か月の天候の見通し、気象予報の種類や特別警報、警報及び注意報などの発表の基準や仕組みなどについて、ご講演をいただきました(写真-2)

続いて、北海道開発局の河上課長補佐から「北海道開発局における冬期の道路交通確保に向けた取り組み」と題して、近年の豪雪災害事例、除雪機械の歴史と最近の技術動向、新たな運搬排雪の取り組み事例、暴風雪を踏まえた今冬の取り組みなどについて、ご講演をいただきました。

また、話題提供として、雪氷チーム 國分研究員が、吹雪視界情報提供実験の取り組み概要と情報提供による行動変化や満足度に関する利用者アンケート調査の

結果などの報告を行いました。

最後に、雪氷チーム 渡邊研究員が路側設置型防雪柵の特徴や現地観測による防雪効果調査結果などの報告を行いました。

表-1 「近年の暴風雪と減災への取り組み」開催プログラム

<p><b>【講演】</b></p> <p>「北海道における昨冬の気象と気象情報の活用」 札幌管区気象台気象防災部予報課予報官 前田潔史</p> <p>「北海道開発局における冬期の道路交通確保に向けた取り組み」 北海道開発局建設部道路維持課課長補佐 河上聖典</p> <p><b>【話題提供】</b></p> <p>「吹雪の視界情報提供の取り組み」 雪氷チーム 研究員 國分徹哉</p> <p>「路側設置型防雪柵の開発」 雪氷チーム 研究員 渡邊崇史</p>
---

当日は、北海道開発局などの行政機関や研究機関、コンサルタントなどの民間企業から、約90名のご参加をいただき、活発な議論が交わされました。

寒地道路連続セミナーの今後の開催予定は、随時、寒地土木研究所ホームページ(<http://www.ceri.go.jp/>)に掲載いたしますので、是非、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

(文責：雪氷チーム 西村 敦史)



写真-1 第40回寒地道路連続セミナー開催状況

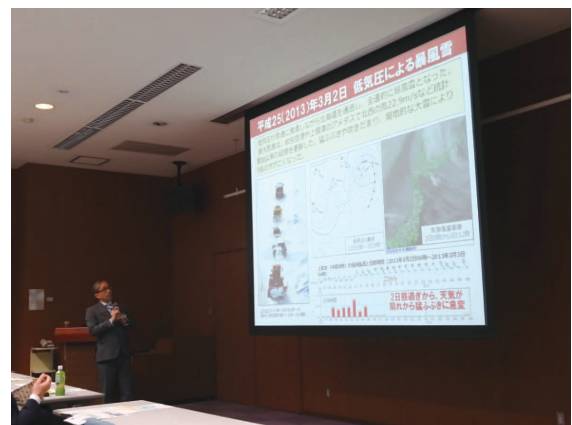


写真-2 札幌管区気象台 前田予報官の講演状況